



あー…あれ？  
別に問題  
ないと思うよ

なんか最近  
サキユバス調子  
悪そうね



随分な言いぐさね…  
心配じゃないわけ？



そっか…魔女ちゃんには  
わからないんだね

だってあれ



やっぱ外に出たねー

そろそろ行動する頃だと思っただ



うっ!?

フキフキ

あんなところに夜間営業してるスイーツ店が行かなきゃ!



みゃは、おーん

ホー



——ただの欲求不満だよ

よっ!?

そりや普段は寝てばっかだけど一応サキユバスだからね本能が抑えられない時もあるよ

まあ暴走しないように見張っておくから安心して

…わかったあの子のことはあんにに任せるわ

はい♡

その頃サキュバス——

い…いきなり  
何を…!?



サキュバス

サキュバス

サキュバス

サキュバス

サキュバス

サキュバス

サキュバス

サキュバス

サキュバス

サキュバス

サキュバス

サキュバス

サキュバス



早速...

コッチに入れるね♡

もう...我慢できない...から♡

はっ...

はっ...

はっ...

はっ♡

はっ♡

はっ♡

L

はっ♡

♡

はっ...

はっ...

この全身が  
満たされる  
ような感じ…

久々…♡

クワッ







欲しい…

もっ

もっ

ん…よかった

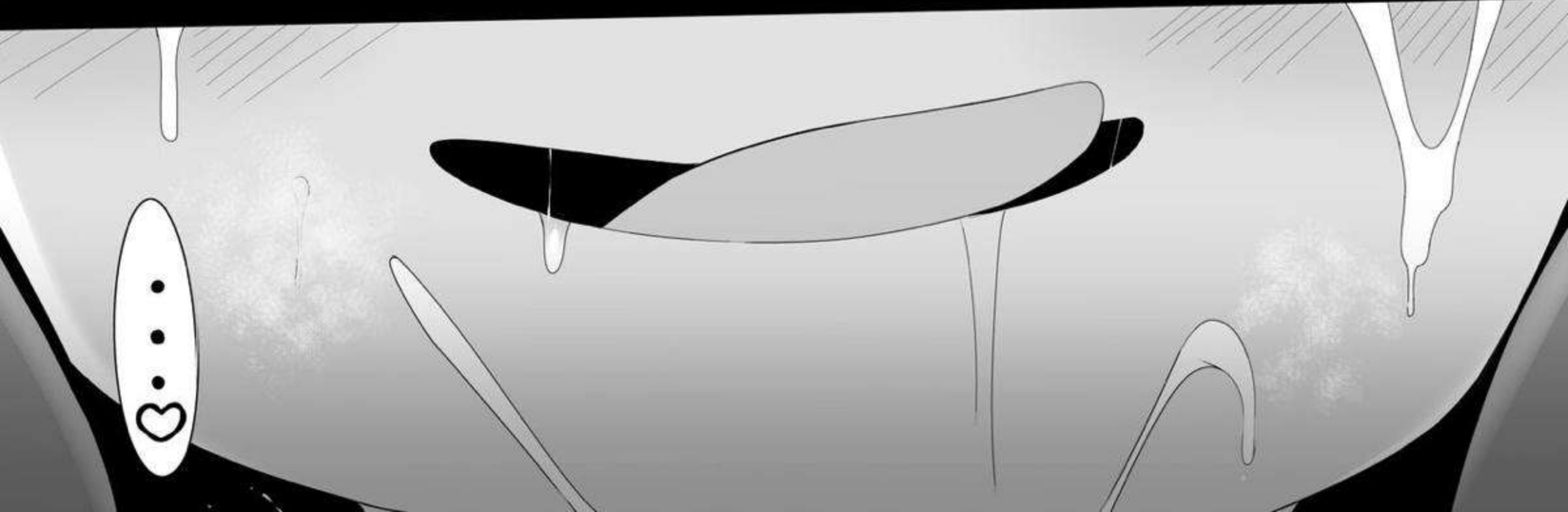
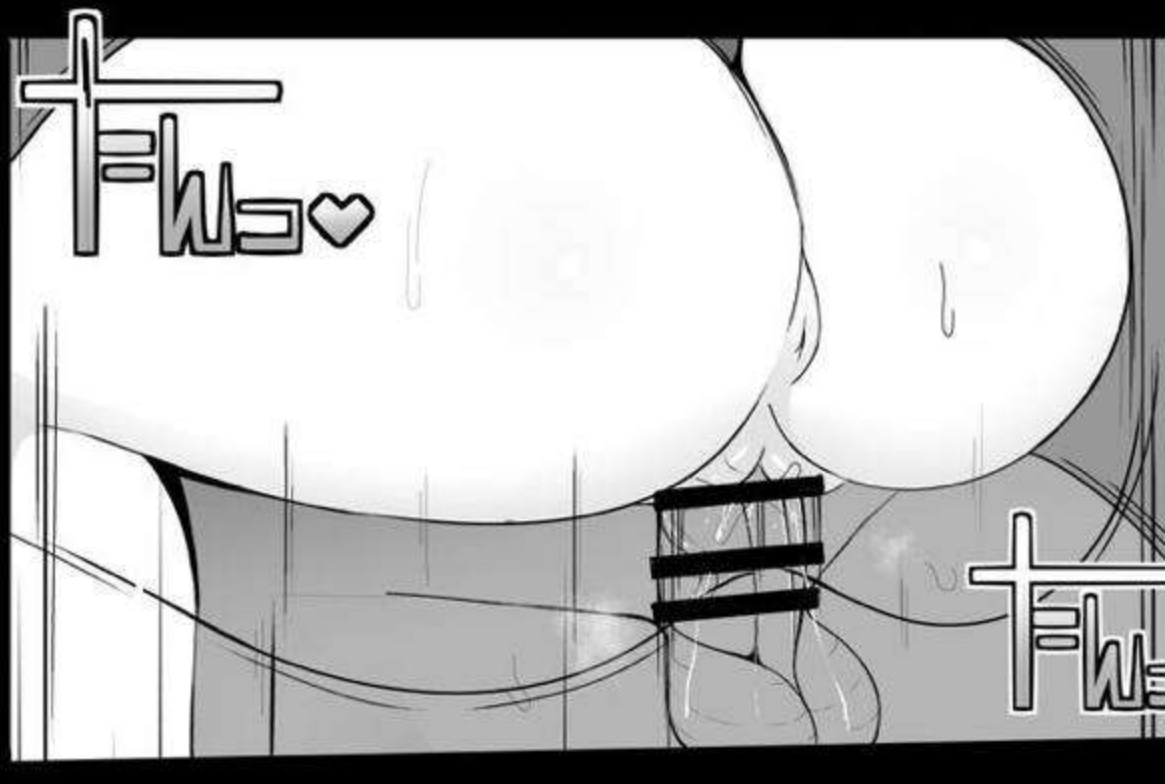
でも…

足りない…

満ち足りないサキユバスは  
そのまま夜の街で  
手あたり次第の  
男性から精を搾り続けた









見事に男の人が  
たくさん倒れてる...

うひゃ〜...



おかげで元気  
になった♡

...そっかあ

もう夜も明けるし  
ごまかすのは  
無理だなあ...  
腹をくくろうか

派手にやったねえ  
サキユバスちゃん...



案の定  
後で叱られた